

# 高瀬堰からのお知らせ(第17号)

## 平成30年度 高瀬堰におけるアユ仔魚の降下調査結果について(速報)

- 高瀬堰では、10月～11月にアユ仔魚降下促進のための試験的放流をしていることから、その降下状況を調査しました。
- 調査は、アユ仔魚がふ化する時期に合わせて、平成30年10月18日～11月16日に5回実施しました。
- 降下密度(流量あたりの個体数)は、過去3年に比べて大きかったことが確認されました。
- 卵黄指数の大きな(ふ化して間もない)仔魚の降下ピークが、堰の下流で21時～翌1時に確認できました。
- 昨年度に比べて流量が少なかった今年は、貯水池に入ってきた仔魚が3時間程度で降下していることが確認されました。



- ✓ 平成24年度から毎年、太田川本川、三篠川・根谷川合流部、堰下流右岸でアユ仔魚降下調査を実施しています。
- ✓ ふ化仔魚が出現する16時～翌4時に、プランクトンネットを使って流れてくる仔魚を捕獲しました。
- ✓ 確認された個体について、個体数のピークの有無と時間差を確認して、貯水池を順調に降下しているか評価しています。
- ✓ 今年度は、昨年度に引き続き、試験的運用を実施しました。

### ※卵黄指数とは・・・

- ✓ ふ化してすぐのアユは、卵黄にある栄養分を吸収しながら降下していきます。5日程度経つと卵黄がなくなります。そこまでに海にたどり着けないと、餌が取れずに死んでしまいます。
- ✓ 卵黄指数の大きさ(おなかの大きさ:最大4)で、卵から出てきてすぐかどうか判断できます。

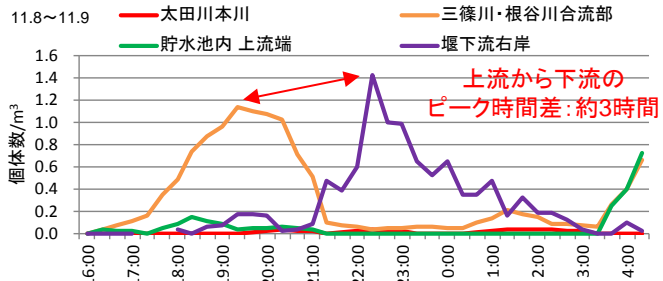


卵黄指数4

卵黄指数1

### ※試験的運用とは・・・

- ✓ ふ化仔魚は日没頃からふ化して降下します。そこで、昼間に貯水位を上げて貯留し、夜間に貯留分を放流することで貯水池内の流速を上げ、仔魚をより早く降下させることを検討しています。



調査年度	流入量 (13時間平均)	降下密度 個体/m <sup>3</sup>	卵黄指数4の 降下ピーク時間帯	卵黄指数4 の割合	備考
平成24	23 m <sup>3</sup> /s	0.3	23～2 h	43%	7回
平成25	62 m <sup>3</sup> /s	0.3	19～20 h	28%	7回
平成26	34 m <sup>3</sup> /s	1.2	22～1 h	8%	7回
平成27	30 m <sup>3</sup> /s	1.5	21～23 h	22%	5回
平成28	43 m <sup>3</sup> /s	1.7	19～21 h	7%	5回
平成29	68 m <sup>3</sup> /s	0.8	19～21 h	16%	5回 (うち試験的運用1回)
平成30	51 m <sup>3</sup> /s	3.4	21 h	9%	通常放流1回
	38 m <sup>3</sup> /s	3.4	21～1 h	9%	試験的運用4回